

■ 銘柄:東京白金 ■

氏名 田栗 満

小沢発言から円安期待で戻りを見せる・・・



■ コメント ■

本日の白金は、43円高の4157円で終わっている。東京(15:30)の白金スポット・レートは1520.5ドル。
軟調なNY市場に比べ割安だった東京市場は寄り付きから買われて始まった。中国のPMI景気指数が事前予想を上回ると為替が円安に動き出し、また民主党代表選の共同記者会見で、小沢議員の公約に「今後の急激な円高には市場介入も含めたあらゆる方策を実施する。また急激な円高に対応するため、予備費など2兆円を直ちに全額執行する」と発言し、商品全体が小沢有利から円安期待感が高まり、一時4169円まで戻る場面を見せている。引け際には4150円～4167円を間で乱高下を行ない終わっている。東京市場の白金は、前日の安値から戻りを見せたが、10日移動平均線が下がって来ており、オシレーターは、ストキャスティクスが売りシグナル、相対力指数は上昇ラインを維持している。ただ再度下落が入れば売りに転じる場面と見れる。今晚は、MBA週間住宅ローン申請指数、8月のADP雇用統計など注目される指標が発表される事から注目した方がよい。(16:10記 田栗)

■ テクニカル ■

移動平均(10MA)	4178円
移動平均(40MA)	4290円
RSI(9日)	41.45%
%D	55.3
slow%D	62.39

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。
詳細につきましては、みんなのコモディティ研究所右上に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。